

# 「住民こそ主人公」を貫いて54年

## なくてはならない日本共産党の議席を必ず

21日は、佐々町の大事な選択の日です。政治戦のなかで議員はどのようになるべきかがハッキリしてきました。前川トシさん、野田銀蔵さん以来「住民こそ主人公」を佐々の議会で貫いて54年。日本共産党へのご支援を心よりお願いいたします。

### 町民の審判を尊重する人が、 そうでない人が

「来年の3月までに合併する」と演説する人がいます。しかし佐々の町民は真剣に考え、4月の住民投票で「合併協議会の設置はしない」という判断を下しました。

政治をめざす人にとっては、どのような立場であれ、少なくとも町民の審判を尊重するという姿勢が必要ではないでしょうか。

■日本共産党は国民主権、住民主権をしっかりと守り、町民の審判を尊重した町づくりをすすめます。



佐々町の図書館

### 「住民の声届きにくく」 政府が合併運動の旗おろす

17日付けの新聞各紙は、「平成の大合併春終了」と報道。「住民の声が届きにくくなる」「地域の伝統・文化の継承が危うくなる」(長崎)などと記しています。

### 国保税、介護保険料、保育料…

### 町民の負担軽減にとりくむ人がどうか

深刻な不況と税金や保険料の引き上げなどで、くらしは本当に大変です。「国保税を引き下げて欲しい」などの声は切実です。

新しい議会では1人でも議案を提案することができます。あなたの願いを日本共産党に託してください。

ところが議会で国保税や保育料などの引き下げについて質問してきたのは、日本共産党と数人の議員だけ。

■国保税、保育料、介護保険料の引き下げを。  
■消費税増税に反対し、後期高齢者医療制度の廃止を求めます。

### ズバリ発言できる人がどうか

議員の大事な仕事は、一般質問をきちんと行い町民の声を届けること。また、行政をしつかり監視することです。

日本共産党は議会のたびに必ず一般質問を行い、税金のムダづかいがないように、ズバリ発言してきました。

